

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

術中マイクロ波およびラジオ波凝固療法を併用した肝硬変合併肝腫瘍に対する内視鏡外科手術の検討			
1. 研究の対象および研究対象期間			
2000年1月から2017年12月に当院でマイクロ波凝固療法およびラジオ波を用いて内視鏡下肝切除術を受けた方			
2. 研究目的・方法			
目的：肝腫瘍に対して内視鏡外科手術を安全に施行するために、種々の手技や器械が報告されている。肝切除手術においては、出血のコントロールが最も重要であり、一般的には肝血流遮断として Pringle 法が行われてきた。しかしながら、肝硬変患者における肝血流遮断は出血量のコントロールに有効なものの、虚血再灌流障害による術後肝不全を誘発するリスクが指摘されている。教室では、肝硬変患者に対する内視鏡外科肝切除手術において、マイクロ波およびラジオ波を用いた precoagulation を導入し、Pringle 法による肝血流遮断を行うことなく安全な手術を施行してきた。本研究では、これらの手術症例において、短期成績を診療録より後方視的に検討し評価することを目的とする。			
方法：肝硬変で肝細胞癌を有する11人の患者に対して内視鏡下肝切除術を行なった。この際、precoagulation として、マイクロ波組織凝固(MCT)および高周波アブレーション(RFA、Habib4X)を使用した。			
研究期間			
医学部人を対象とする研究などに関する倫理委員会承認後、昭和大学病院長の研究実施許可を得てから2018年12月まで			
3. 研究に用いる試料・情報の種類			
情報：病歴、術後合併症の発生状況、手術記録、カルテ番号、病理所見			
4. お問い合わせ先			
照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：			
所属：昭和大学病院（医学部外科学講座消化器一般外科学部門）		氏名：田代良彦	
住所：142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8		電話番号：03-3784-8000	
研究責任者：			
所属		職名	氏名

医学部 外科学講座 消化器一般外科学部門（昭和大学病院）助教
電話番号 03-3784-8541
E-mail: ytashiro@med.showa-u.ac.jp

田代 良彦